

りんごの斑点落葉病と褐斑病の発生増加に注意しましょう！

7月の巡回調査の結果、斑点落葉病及び褐斑病の発生が、平年よりも多く確認されました（図1、2）。

気象庁発表の1か月予報（7月24日発表）によると、今後1か月の平均気温は高くなる見込みであり、本病に好適な条件が続くと予想されることから、発生増加が懸念されます。

これらの病害が多発すると、早期の落葉を引き起こし、果実の品質低下や収量の減少につながるおそれがあります。発生状況をよく観察し、適切な防除を行いましょう。

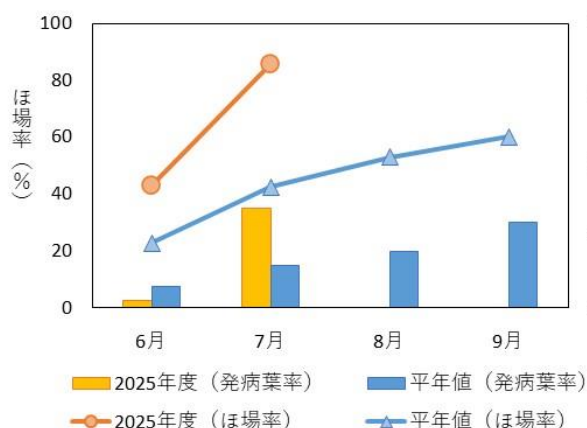


図1 斑点落葉病の発生推移

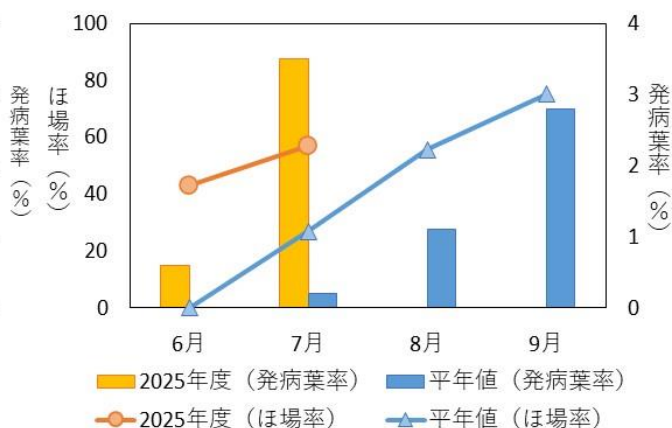


図2 褐斑病の発生推移

1 症状

- （1）両病害とも、発病初期は葉に2～3mmの褐色から暗褐色の円形病斑を生じる。（写真1）。初期病斑はよく似ているが、**褐斑病は病斑上に虫糞状の小黑点（分生子層）**を形成する（写真2）。
- （2）斑点落葉病は、病徴が進展すると**大型の不整形病斑**となり（写真3）、激発すると早期落葉する。果実では、褐色～黒色の円形病斑が発生する。
- （3）褐斑病は、病徴が進展すると褐色の不整形病斑となるが、**病斑部の周辺はしばらく葉色を残し、健全部は黄化**する（写真4）。



写真1 斑点落葉病の初期病斑



写真2 褐斑病の病斑上の小黑点



写真3 斑点落葉病の不整形病斑



写真4 褐斑病の黄化症状

2 防除対策

- (1) 予防効果の高い薬剤を中心に計画的な薬剤散布を行う。病害の発生が確認された場合は、治療効果の高い薬剤を使用する（表1）。
- (2) 殺菌剤耐性菌の発生を防ぐため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。

表1 リンゴ斑点落葉病及びリンゴ褐斑病に登録のある主な薬剤（令和7（2025）年7月10日現在）

薬剤名	適用病害名	使用時期	希釈倍数 (倍)	本剤の 使用回数	有効成分	FRAC コード	効果
ICボルドー412	斑点落葉病	-	20～50	-	塩基性硫酸銅	M1	予防
	褐斑病		30～50				
キノンドーフロアブル	斑点落葉病	収穫 14日前まで	800～1000	4回以内	有機銅	M1	
	褐斑病						
オーソサイド水和剤80	斑点落葉病	収穫前日まで	600～800	6回以内	キャプタン	M4	
	褐斑病						
スコア顆粒水和剤	斑点落葉病	収穫 14日前まで	3000	3回以内	ジフェノコナゾール	3	治療
	褐斑病		2000～3000				
フルーツセイバー	斑点落葉病	収穫前日まで	1500～2000	3回以内	ペンチオピラド	7	
	褐斑病						
ファンタジスタ顆粒水和剤	斑点落葉病	収穫前日まで	3000～4000	3回以内	ピリベンカルブ	11	
	褐斑病						
ナリアWDG	斑点落葉病	収穫前日まで	2000	3回以内	ピラクロストロビン ボスカリド	7・11	
	褐斑病						
ポリオキシシンAL水和剤	斑点落葉病	収穫3日前まで	1000	3回以内	ポリオキシシン複合体	19	
	褐斑病						

注：RAC コード 3、7、11 は耐性菌発生防止のため、あわせて2回以内の使用とする。

詳細は、防除課（TEL 028-665-1244）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは「[農業総合研究センターホームページ](#)」、
「[栃木県農政部 X](#)」でご覧いただけます。



【センターHP】

～栃木県からのお知らせです～

6月～8月は、「栃木県農業危害防止運動」の実施期間です。



- ① 安全作業の第一歩！ 農薬散布時の身支度は万全に！ ② いつものチェック！ 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！
- ③ 農薬散布のその前に！ 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！ ④ 周辺への配慮！ 住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう！
- ⑤ 農薬散布のその後に！ 防除器具の洗浄も欠かさずに行いましょう！